

令和元年 8 月 15 日

瀬戸内市議会議長 日下 敏久 様

瀬戸内市議会議員 高間 直美

政務活動費研修報告書

政務活動費を使用して、次のとおり研修活動をしましたので、その結果を報告します。

期 間	令和元年 7 月 28 日～7 月 30 日
研修会名	これからの日本の教育と福祉のあり方 ① 大人のひきこもり問題を考える ② 教育先進国フィンランドから学ぶ教育政策
開催場所	TKP 東京駅八重洲カンファレンスセンター
研修目的・ 内容	① 40 歳以上のひきこもりの現状把握がされた今、議員としてどうすべきか調査結果を基にこれからの日本の方向性を学ぶ。 ② フィンランドの教育と福祉のあり方から、日本の教育を学ぶ。
所 感	① 少子高齢化が進み現役世代が減少する中、ひきこもり問題は今後社会基盤を揺るがす問題になる。ひきこもりが長期化すれば支援はより難しくなるため、市としても早めの対応が必要である。また、不登校との共通の要因も多くあり、就学期からの未然予防にも力を入れていく必要があると感じた。 ② フィンランドの教育は、自分で考え生き抜く自立した人を育てることを目的にしている。人を国の財産と考え、いかに生涯にわたり活躍する人材を社会に送り出すのかという観点で取り組んだ結果、教育先進国となっている。フィンランドの教育を参考にし、本市でも教育目標を明確に定め、施策の充実と新しい取り組みにもチャレンジしていく必要があると感じた。

